

その他の建築工事業における踏抜き災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	看板撤去の作業中、屋根の上で異物を踏んで右足かかとを負傷した。	63	—
2	14~15	内装解体工事において、天井補修を行っていたところ、天井ボード張り作業が終わり、脚立足場の足場板上（約750mm）から降りた際、床にコンクリート釘が残っていたため、左足親指付近に釘が刺さってしまった。	19	—
2	9~10	工場内の平屋の建物の屋根上で塗装用材料を運んでいる時にスレートの屋根部分を踏み、その部分が抜けて5m下に転落した。	38	1~9
7	14~15	客先構内において天井クレーンのタラップ手摺取付作業を被災者（作業長）含む4名で行っていた。手摺取付後のグラインダー仕上作業の電源をクレーンからとるよう被災者が指示し、他の作業員もトロリー近接作業でないため了承した。その後グラインダー作業に取りかかろうとした際、被災者が作業予定に無かったストッパー取付用ボルトの締め付け作業を開始した。被災者がトロリー点検用デッキとランウェイゲーターに足をかけた状態（トロリーに近接した状態）でスパナを用いてボルトに接触した際に感電し被災した。	33	10~29
7	9~10	工場において、屋根の養生作業中、目測を誤りスレートをふみ抜いて墜落した。左肩の打撲左膝脛骨と腓骨の骨折と診断された。	45	30~49
9	8~9	作業場の屋根の上を歩いて奥にある母屋の瓦を取りに行く途中、当該屋根の一部（約1㎡程度）がプラスチックだったことに気付かず踏んでしまった為、片足がプラ	22	1~

		スチックにはまり体のバランスを崩して屋根部分に左鎖骨等を強打し、負傷したものである。		9
10	9～ 10	自社の資材置き場で、バラになっている古い鉄筋を片付け中、先が曲がった鉄筋（鉄筋の先が鋭利になっていた。太さ1cm弱・長さ1m位）が伸びた草の陰にあり、それに気付かず踏んでしまい、左足裏の真ん中を負傷した。（ズックを履いていた。）	34	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html